

保護者の皆様

小野市立小野東小学校長

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果について

令和6年4月18日、小学6年生を対象に、国語・算数の学力調査及び生活状況調査が全国一斉に実施されました。本校の結果を全職員で分析・協議し、指導に活かしています。  
本校の分析結果の概要は、次の通りです。



### 国語の結果から

#### ①優れている項目

- 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。

#### ②課題となる項目

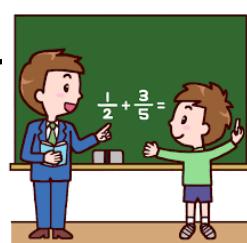
- △目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討し、明確にすることができる。
- △文の中における主語と述語との関係を捉えることができる。
- △登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。

### 【考察】

- 全体的に見て、全国とほぼ同程度の結果であった。知識及び技能の「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国の平均正答率を大幅に上回っている。おの検定などで、言語の基礎基本の習得に向けて継続して取り組んだ結果が表れたと考えられる。また、「読むこと」についても全国を上回っており、主体的な学びの一環として本校が取り組んでいる「まるごと読みシート」で、教材の全体像をおおまかに捉える活動を推進している成果が現れていると考えられる。ただし、集めた材料を書く目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、それらを互いに結びつけて関係づけたりして、伝えたいことを明確にする能力に関して課題が見られた。

### 【今後の対策について】

- これまで通り、振り返りや自分の考えを「書く」活動を継続して取り組むとともに、文型を示したり条件を与えてたりすることで、様々な表現方法に対応できる「書く」力を育成する。
- 読書活動を重視し、長文読解に慣れるとともに、児童自身が問い合わせを持って読むことができるよう、登場人物の気持ちや考え方、作者の思い、物語の構成、表現の効果など、学習のねらいを意識しながら授業改善に臨み、「読む」力を育成する。



### 算数の結果から

#### ①優れている項目

- 問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができる。
- 除数が小数である場合の除法の計算をすることができる。
- 二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、分類整理することができる

#### ②課題となる項目

- △計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を

用いて記述できる。

△球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができる。

△示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できる。

### 【考察】

○全体的に見て、全国とほぼ同程度の結果であった。「数と計算」については、全国の正答率を大幅に上回っている。おの検定等で、基礎基本の習得に向けて継続して取り組んだ結果が表れたと考えられる。また、一方で、「データの活用」の項目では、正答率が低くなっている。多くの情報から必要な情報を見つける力に課題があると考えられる。また、「図形」の項目では、全国より下回っており、図形の定義が定着していないことが考えられる。

### 【今後の対策について】

○様々な図形の定義をしっかりとおさえる。

○自分の思考過程を言葉や図を使いながら、書き表す習慣が身につくようにしていく。

○低学年から意識して応用問題に取り組む機会をつくる。その際、文章だけでなく図や表・グラフからも情報を読み取るようにする。

### 質問紙（生活面）調査の結果から

#### ①優れている項目

○朝食を毎日食べている。 ○学校に行くのは楽しい。 ○友達関係に満足している。

○自分には、よいところがあると思う。 ○先生は、自分のよいところを認めてくれている。

○将来の夢や目標を持っている。 ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

○人が困っているときは、進んで助けている。 ○人の役に立つ人間になりたいと思う。

○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。

#### ②課題となる項目

△学校の授業時間以外に、家庭で1日に勉強している時間は、1時間より多い。

△普段、スマホ等でSNSや動画視聴を1日に1時間未満。

△新聞を読む。



### 【考察及び今後の対策について】

○就寝時間以外は、ほぼ規則正しい生活習慣が身についている。脳の司令塔である前頭前野の発達を促すためには、「早寝・早起き・バランスの取れた朝食」が必要である。

○自尊感情が健やかに育まれており、自分も他の人もすべて大切な存在だと感じている。人権教育として取り組んでいるSUN愛ペア活動、各種行事や児童会活動での達成感や充実感、学級での居場所づくり等が人権意識の高まりに繋がっていると考えられる。

○地域愛は大きく、普段から地域に支えられ大切にされていることを実感しているため、地域や社会へ貢献したいという強い気持ちが表れていると考えられる。

○1日1時間以上の家庭学習に取り組むことができている児童の割合が低い。家庭での時間の使い方を振り返るとともに、「家庭学習の手引き」の活用を啓発していく。また、定期テストに向けての計画的な学習にも継続して取り組んでいく。

○近年、ネットからの情報に頼り、新聞離れや読書離れが進んでいる。読書習慣は学力と相関関係がある。家庭での時間の使い方として、スマホやゲーム等で時間を消費していくのであれば、その時間の一部を読書に変えていく等の啓発を様々な場面で行う。